

ひまわりプロジェクト 2016

種がぞくぞく届いています

朝夕の気温差が激しくなり、福島もすっかり秋らしい陽気となった。夏の終わりから集まり始めたひまわりの種だが、今もなお全国から大量の種が届けられている。十月中旬時点で、四二〇キログラム以上の種が福島へ寄せられ、九月中旬頃と比較するとおよそ五倍の量となった。種は米袋やダンボール、封筒など、様々な形で送られてくる。複数の協力者を取りまとめているある団体から送られたダンボールには、多種多様な袋に小分けにされた種たちがぎっしりと詰まっていた。こちらが把握している以上に多くの方が協力下さっていることが伝わってくる。

■高知県奈半利町から
基本的には郵送や輸送によって福島へたどり着くひまわ



▲奈半利町の広大なひまわり畑



▲奈半利町の収穫イベント。たくさんの思いが詰まった種をありがとうございます。

りの種だが、中には福島へ直接運んで下さった協力者もいる。十月八日（土）、高知県奈半利町から「ふくしまと奈半利をつなぐひまわりプロジェクト」としてひまわり栽培協力をしている『ひなはりSUN』の皆さんが福島のシャロームを訪れた。子どもを含む計七名の方が来訪したが、なんと車で長時間かけて高知から福島までやって来たそう。実は、今回お越しいただいたほとんどの皆さんは作年も福島へ種を届けに来て下さっており、約一年ぶりの再会となった。

奈半利町の皆さんは作年からひまわりを栽培しており、作年は町の環境美化団体が主催となった。来訪時に持参いただいたひまわりの種は収穫した種の一部であったが、全体的には一五〇キログラム以上の種を収穫したそう。収穫は九月十一日に行われ、収穫イベントには地域の人々をはじめ、車

となつて行っていた。今年も前年度に中心となつて動いた有志が集まって『ひなはりSUN』が結成された。活動資金は自分たちで調達をしているそう。その方法は様々なイベントに出店し、岩手県大船渡産のホタテを焼いて販売すること。資金を調達するためだけでなく、東北の美味しいものを多くの人に知ってもらいたいという、被災地支援の目的も含まれている。

また、十月十一日には岩手県から二〇〇キログラム以上の種を届けて下さった方もいた。夜中に自宅を出発して車で福島まで来られたそう。この他にも直接シャロームへ種を届けて下さった方々は沢山いる。遠路はるばる福島まで来てくださる皆さんに心から感謝したい。

(Y・K)



「ふくしまと奈半利をつなぐひまわりプロジェクト」の活動は Facebook で閲覧できます！

URL

<https://www.facebook.com/FUKUSHIMAtoNAHARI/>

- ①直接ご持参いただける方：「まちなか夢工房」店頭で募金箱を設置いたしました
- ②遠方の方：郵便局の郵便振込にてご送金ください

（お振込先）
No. 02260-7-90324
宛名 シャローム
通信欄 九州地震お見舞金

この度の熊本・大分県の大震災で被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

シャロームでは熊本大地震・お見舞金のご寄付を募っております。皆さまからお預かりしたお見舞金は、グリーンコープ共同体、生活協同組合連合会、グリーンコープ連合、さんを通じて九州地方へお届けいたします。

熊本大地震
お見舞金のお願

よろしく
お願いします



《ひまわりの種の送付先》

〒960-8141
福島県福島市渡利鳥谷下町 67-1
ベーシック憩 宛
(TEL : 024-529-6901)